

# 第 1 章 金沢市の概況と住宅事情

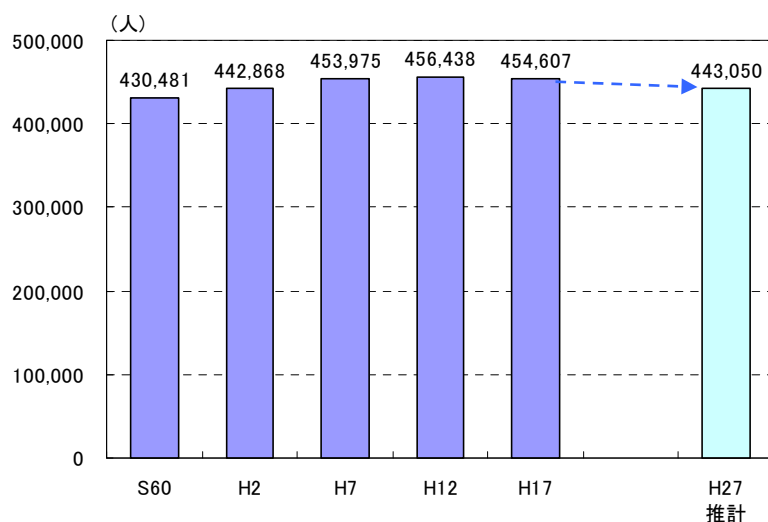
## 1. 金沢市の概況

### (1) 金沢市の人口の動向

平成 17 年現在における金沢市の人口は 45.5 万人となっており、石川県の人口 (117.4 万人) の 38.7% を占めています。

人口推移をみると、平成 12 年までは緩やかに増加してきましたが、平成 17 年において微減に転じています (対 5 年前比増減率 0.4%)。

なお、国立社会保障・人口問題研究所による全国の市町村人口推計によると、本市における本計画の目標年次 (平成 27 年) の推計人口は、約 44.3 万人となっています。

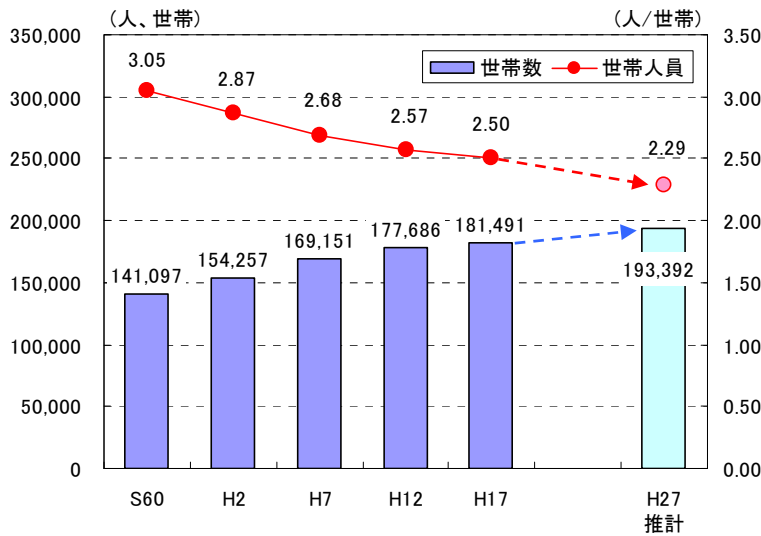


出典：国勢調査

## (2) 金沢市の世帯数の動向

世帯数は着実に増加しており、平成 17 年現在において 18.1 万世帯、平均世帯人員は 2.50 人/世帯となっています。

なお、将来の 1 世帯あたり人員を過去の実績値からトレンド法(指数回帰)を用いて推計すると、本計画の目標年次(平成 27 年)における 1 世帯あたり人員は 2.29 人/世帯となり、世帯数は約 193.4 千世帯と推計されます。

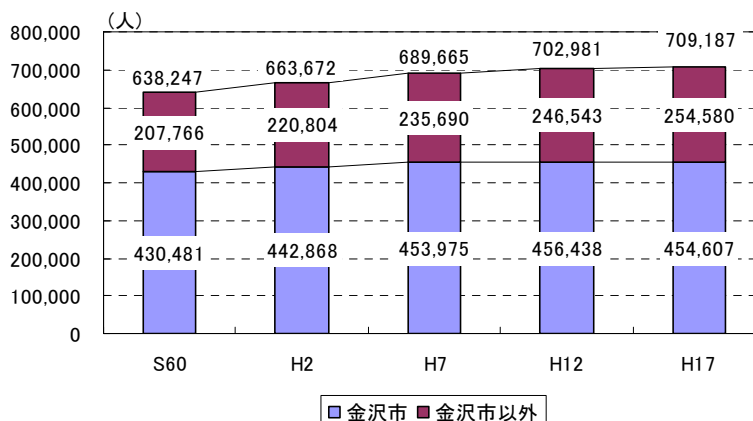


出典：国勢調査

## (3) 生活圏の人口

本市の周辺市町のうち、本市への通勤・通学者率が 20%を超える圏域を生活圏として捉えたとき、平成 17 年における生活圏の人口は 70.9 万人、平成 17 年における対 5 年前比増減率は 0.9%となっています。なお、金沢市以外の対 5 年前比増減率は 3.3%となっています。

金沢市、川北町、白山市の一部(旧松任市、旧美川町、旧鶴来町、旧河内村)、野々市町、津幡町、かほく市、内灘町

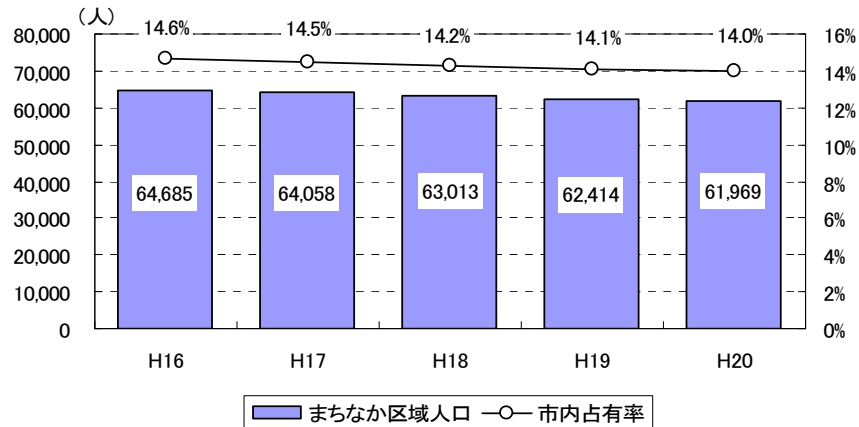


出典：国勢調査

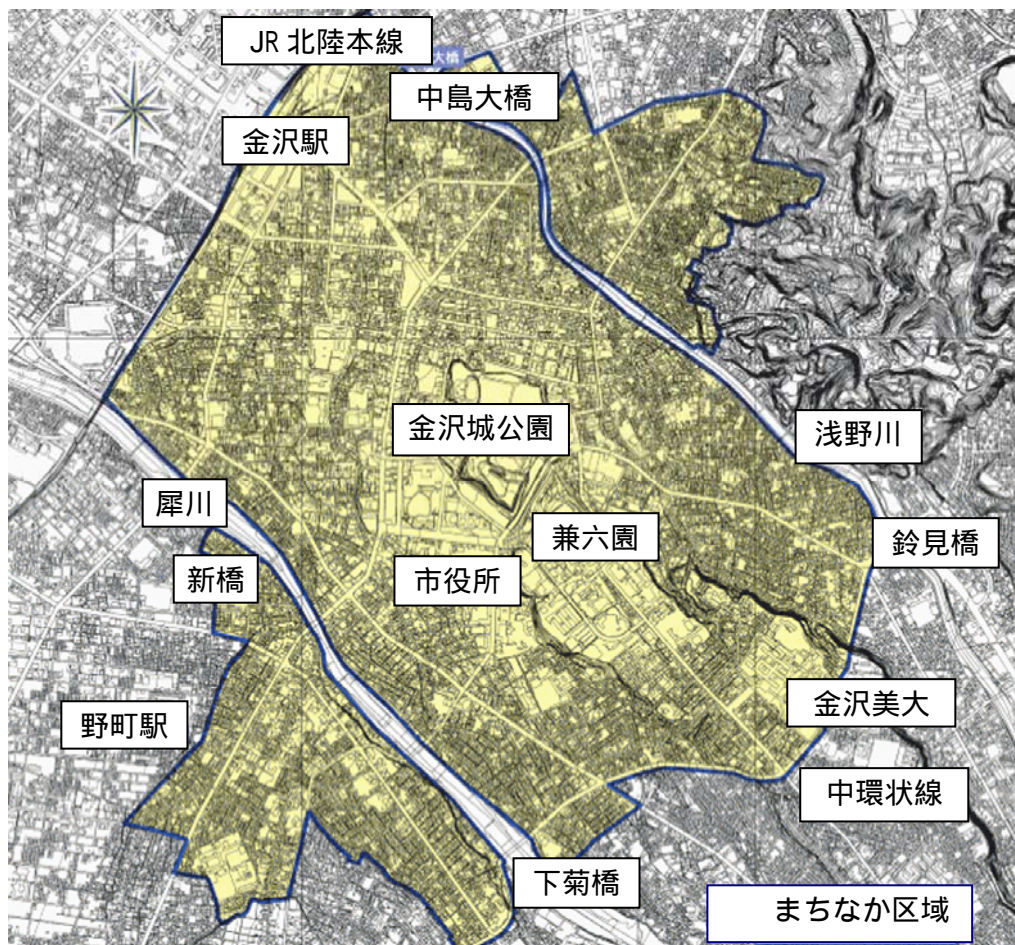
#### (4) まちなか区域の人口

平成 20 年 1 月現在におけるまちなか区域の人口は 6.2 万人となっており、総人口の 14.0%を占めています。

人口推移をみると、減少傾向が続いており、平成 19 年度における対前年度比増減率は 0.7%となっています。



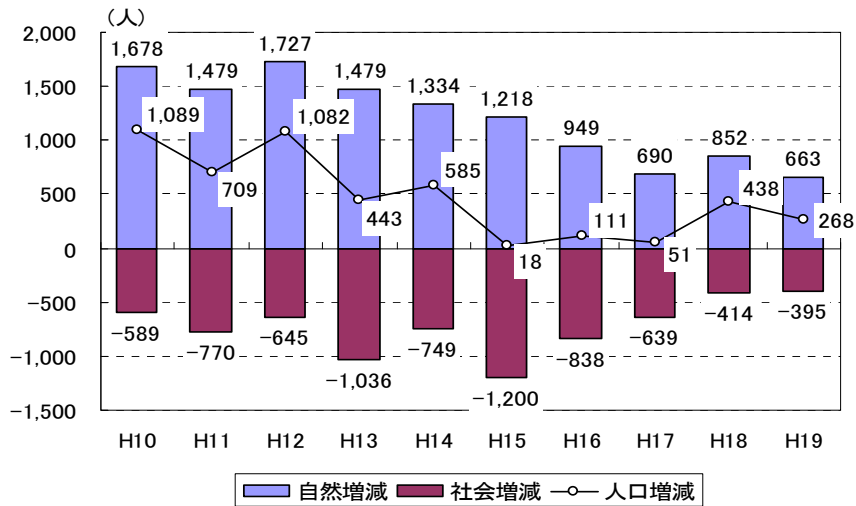
出典：金沢市資料(各年 1 月)



## (5) 人口動態

### ①人口動態の推移

転出超過の傾向が続いており、平成10年以降社会減となっていますが、平成15年から社会減は縮小傾向にあります。



出典：住民基本台帳(国勢調査による補正は考慮していません)

### ②社会増減

平成18年10月から平成19年9月における金沢市の社会動態(石川県内)をみると、転入5,592人、転出5,283人となっており、309人の転入超過となっています。社会増減をみると、白山市(263人)、津幡町(177人)をはじめとする金沢都市圏のほか、川北町および能美市に対して転出超過となっています【次頁左表】。

参考として、平成7年から平成12年における年齢階層別の社会増減をみると、20-24歳(6,641人)、15~19歳(2,544人)の転入超過が突出しています。一方、転出超過は25-29歳(2,759人)が最も多いですが、5-14歳、30-69歳という幅広い年代で転出超過となっていることから、学生などの単身での短期間の定住者は多いものの、家族世帯は市外へ転出傾向にあると考えられます【次頁右表】。

	金沢市へ 転入	金沢市から 転出	社会増減
七尾市	361	230	131
輪島市	242	123	119
能登町	184	77	107
志賀町	155	61	94
加賀市	267	174	93
珠洲市	150	84	66
羽咋市	178	112	66
小松市	434	372	62
中能登町	98	48	50
宝達志水町	104	57	47
穴水町	118	77	41
かほく市	262	239	23
能美市	241	271	30
野々市町	1,085	1,121	36
川北町	26	63	37
内灘町	381	428	47
津幡町	332	509	177
白山市	974	1,237	263
計	5,592	5,283	309

出典：石川の人口と世帯(H19)

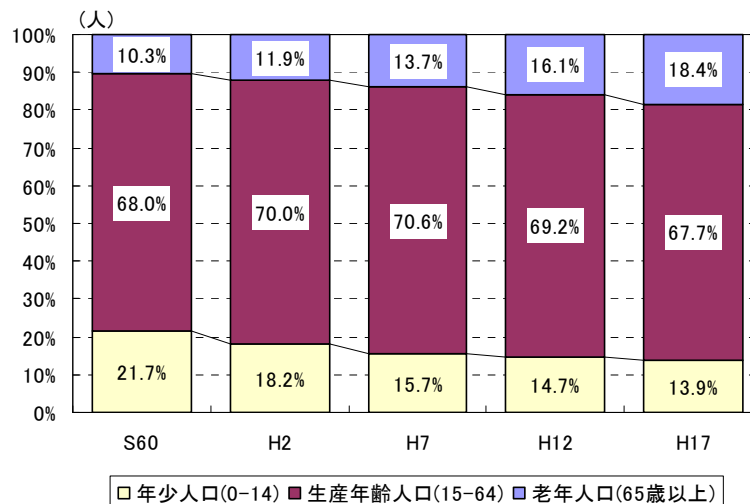
	金沢市へ 転入	金沢市から 転出	社会増減
5～9歳	3,330	4,170	840
10～14歳	2,003	2,654	651
15～19歳	6,307	3,763	2,544
20～24歳	16,721	10,080	6,641
25～29歳	10,907	13,666	2,759
30～34歳	7,851	8,644	793
35～39歳	5,277	5,837	560
40～44歳	3,236	3,655	419
45～49歳	2,471	2,763	292
50～54歳	2,493	2,676	183
55～59歳	1,350	1,588	238
60～64歳	745	857	112
65～69歳	551	585	34
70～74歳	436	368	68
75～79歳	421	332	89
80～84歳	367	272	95
85歳以上	473	253	220
計	64,939	62,163	2,776

出典：国勢調査(H12)

## (6) 年齢別人口

### ①年齢3区分別人口

平成17年現在の年齢3区分別人口構成をみると、老年人口比率18.4%、年少人口比率13.9%となっており、少子高齢化が着実に進行しています。



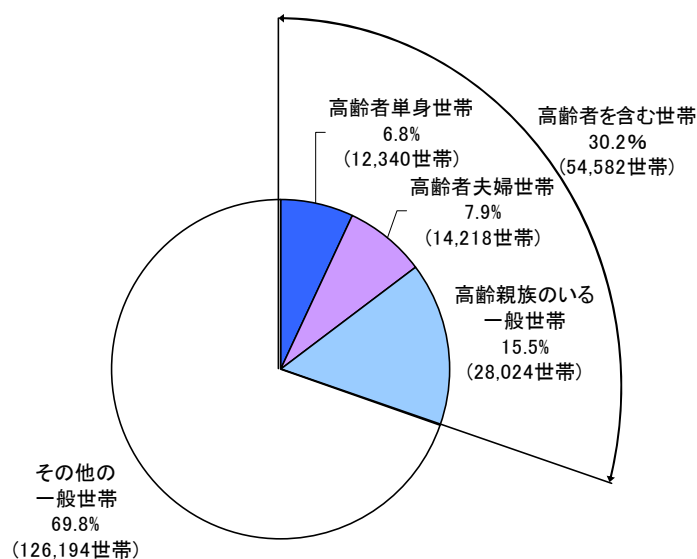
出典：国勢調査

## ②高齢者を含む世帯 (高齢者単身世帯、高齢者夫婦世帯、高齢親族のいる世帯)

平成 17 年現在、一般世帯(180,776 世帯)のうち、30.2%の世帯が高齢者を含んでいます。

このうち、高齢者単身世帯 は 6.8%(12,340 世帯)、高齢者夫婦世帯 は 7.9%(14,218 世帯)となっており、これら世帯は高齢者を含む世帯の 48.7%を占めています。

高齢者単身世帯とは、65 歳以上の者一人のみの一般世帯ことをいいます。高齢者夫婦世帯とは、夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦 1 組の一般世帯のことをいいます。



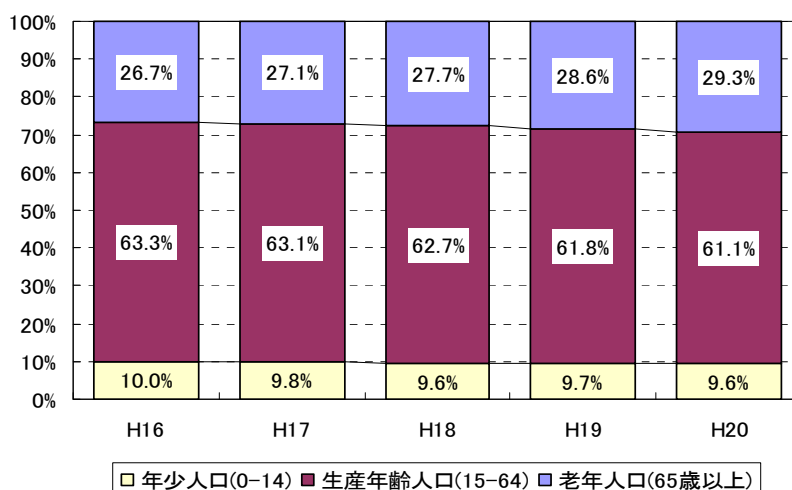
出典：国勢調査(H17)

### ③まちなか区域の年齢別人口

まちなか区域における平成 20 年 1 月現在の年齢 3 区分別人口構成をみると、老年人口比率 29.3%となっており、高齢社会 から超高齢社会 へと移行しています。

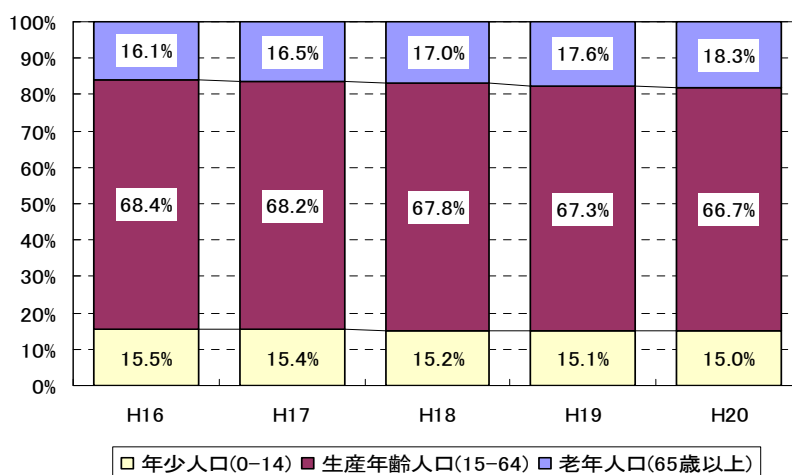
一般に、高齢化率が 7%を超えた社会を「高齢化社会」、14%を超えた社会を「高齢社会」と呼んでいます。今後到来が予想される高齢化率の一段と高い社会を「超高齢社会」と呼びます。(参考：H18 高齢社会白書)。

まちなか区域



出典：金沢市資料(各年 1 月)

まちなか区域外



出典：金沢市資料(各年 1 月)

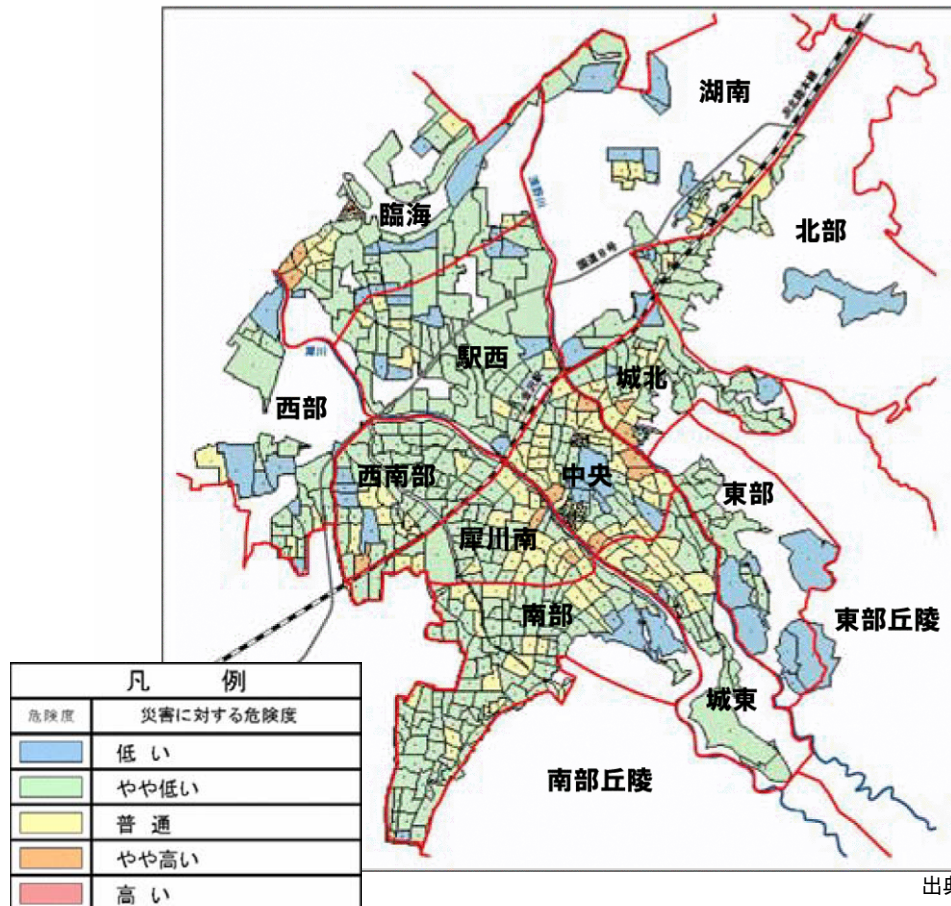


## (7) 延焼による災害危険度の評価

市内には、延焼による災害危険度の高い地区が点在しており、特に歴史的街並みの残る密集木造住宅地において延焼が危惧されます。

### 地震による災害危険度評価図

延焼の危険性（不燃領域率・木造建ぺい率）から見た災害危険度評価



出典：金沢市作成資料



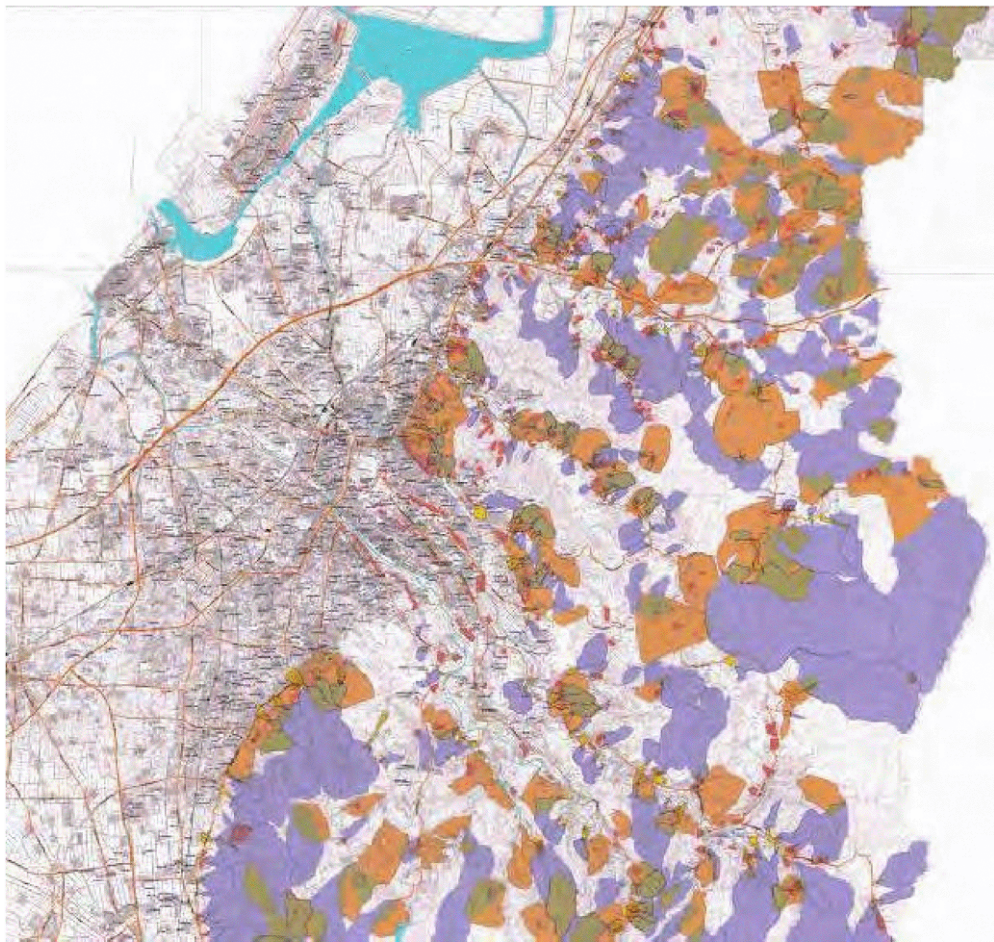
## (8) 土砂災害危険箇所

市内の山間部だけでなく、中心部も急斜面地崩壊危険箇所や地すべり危険箇所に指定されています。

これらの危険箇所については、平成18年から土砂災害防止法に基づいて、順次、土砂災害警戒区域、特別警戒区域にも指定されています。

土砂災害危険箇所図

水害、土砂崩れ等の災害予防対策の推進



凡		例	
<b>砂防課所管</b>			
	土石流 危険渓流・区域 平成14年国分県		森林管理課所管
	急傾斜地 崩壊危険箇所 平成14年国分県		崩壊土砂 流出危険地区 平成14年国分県
	地すべり危険箇所 平成10年国分県		山腹崩壊危険地区 平成13年国分県
			地すべり危険地区 平成13年国分県
<b>農業基盤整備課所管</b>			
			地すべり危険地区 地すべり防止区域 平成10年国分県
<b>避難施設・災害時要援護者施設</b>			
			避難施設
			災害時要援護者施設

出典：金沢市作成資料



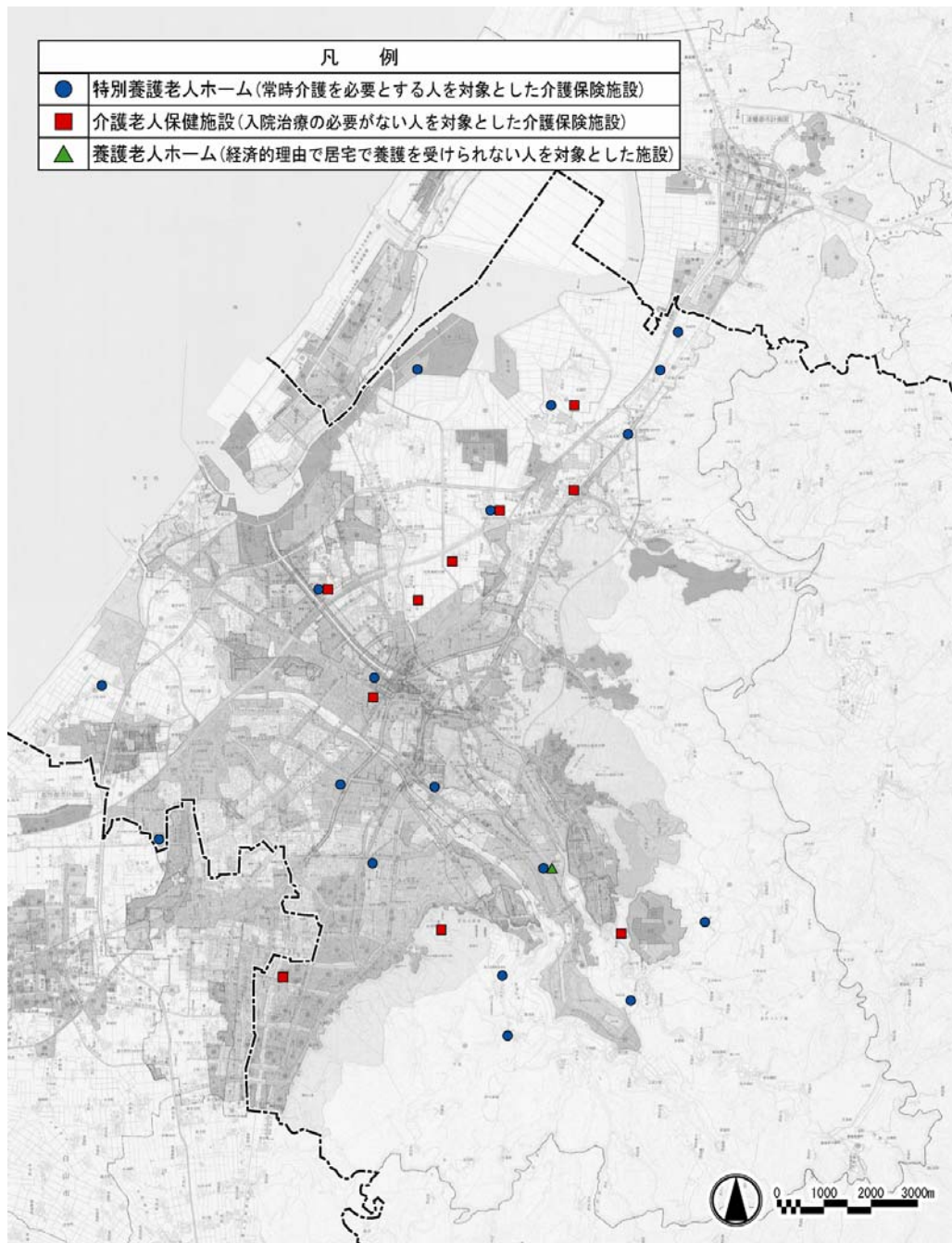


## (10) 高齢者福祉施設

高齢者福祉施設は、市内全域に分布していますが、中心部よりも郊外部に多く分布する傾向があります。

市内には、特別養護老人ホーム 18 件、介護老人保健施設 11 件、養護老人ホームが 1 件あります。

高齢者福祉施設分布図



出典：金沢市作成資料(平成 21 年 3 月 1 日現在)

## (11) 公園・緑地

都市計画区域内における地域制緑地の面積は 14,954.5ha(重複を除く面積)であり、市街化区域内では 807.1ha が指定されています。

指定区分別では、市街化調整区域に風致地区、農業振興地域・農用地区域、地域森林計画対象民有林等が広い地域にわたって指定されていることが目立ちます。

緑地現況量総括表

区 分			市街化区域 (1)	市街化調整区 域(2)	都市計画区域 (1)+(2) = (3)	
施設 緑地	都市公園		243.3	266.9	510.2	
	都市 公園 以外	公共施設 緑地	公園緑地に準ずる機能をも つ緑地等	55.8	350.4	406.2
			公共公益施設における植栽 地等	108.8	8.9	117.7
	民間施設緑地		68.7	84.4	153.1	
	施設緑地合計		476.6	710.6	1,187.2	
地域 制 緑地	法 に よ る も の	特別緑地保全地区、緑地保全地域	8.5	0	8.5	
		風致地区	136.1	1,814.2	1,950.3	
		生産緑地地区	0.1	0	0.1	
		その他法によるもの	705.0	23,675.1	24,380.1	
	緑地協定		40.3	0	40.3	
	条例等によるもの		0	67.0	67.0	
	地域制緑地小計		890.0	25,556.3	26,446.3	
	地域制緑地間の重複		82.9	11,408.9	11,491.8	
	地域制緑地合計		807.1	14,147.4	14,954.5	
	施設・地域制緑地間の重複		66.4	297.6	364.0	
緑地現況量総計		1,217.3	14,560.4	15,777.7		

出典：金沢市緑の基本計画





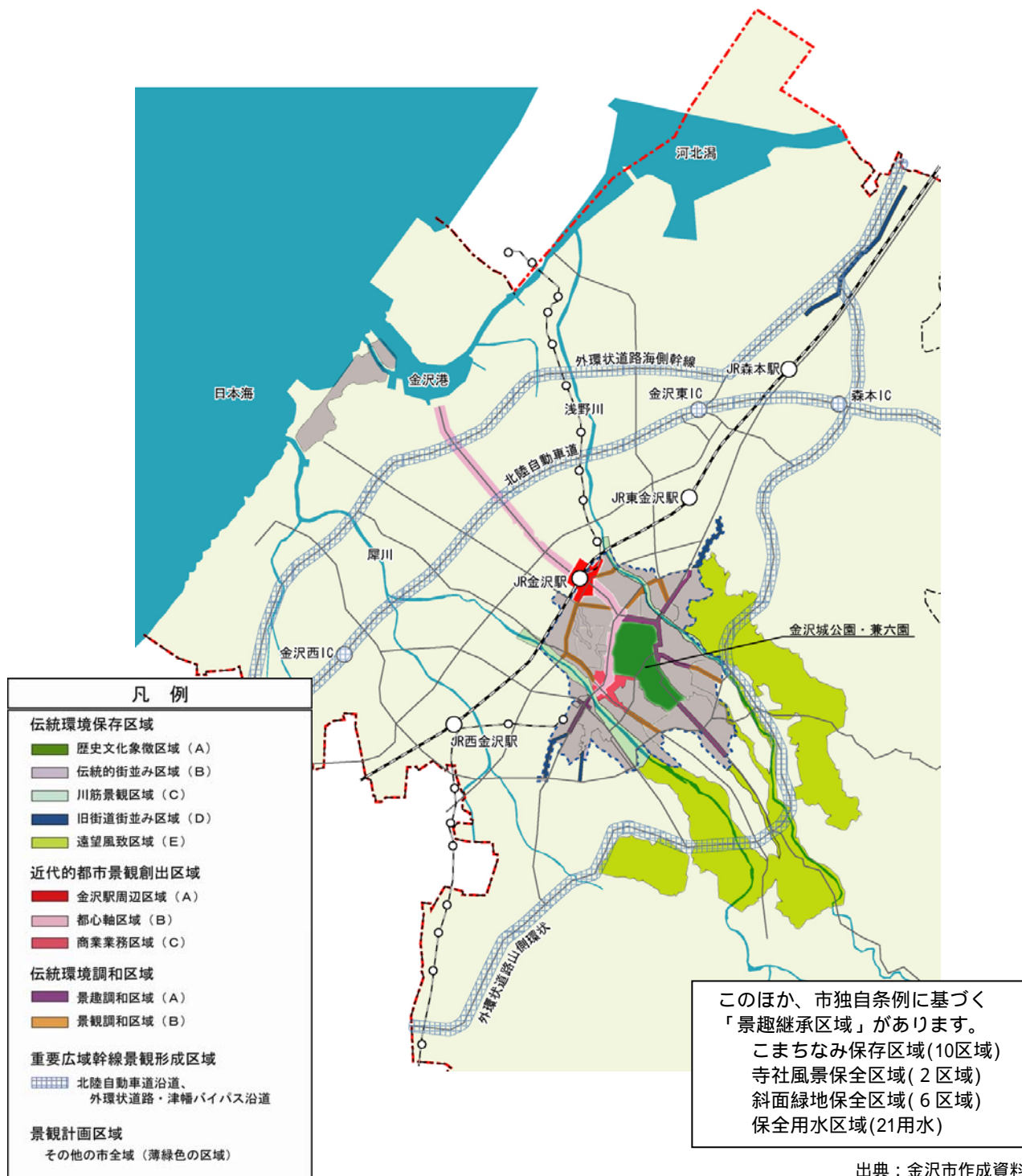
## (12) 景観計画区域の指定状況

伝統環境保全区域は、主に市内中心部に分布しており、その他に、金石・大野区域、森本・花園区域、二俣・田島区域、湯涌温泉街区域があります。

寺院風景保全区域としては、小立野寺院群、寺町寺院群があり、近代的都市景観創出区域は、金沢駅周辺～香林坊・片町を中心に指定されています。

こまちなみ保存区域は、市内中心部及び金石・大野町で指定されています。

景観計画区域の指定状況図



出典：金沢市作成資料

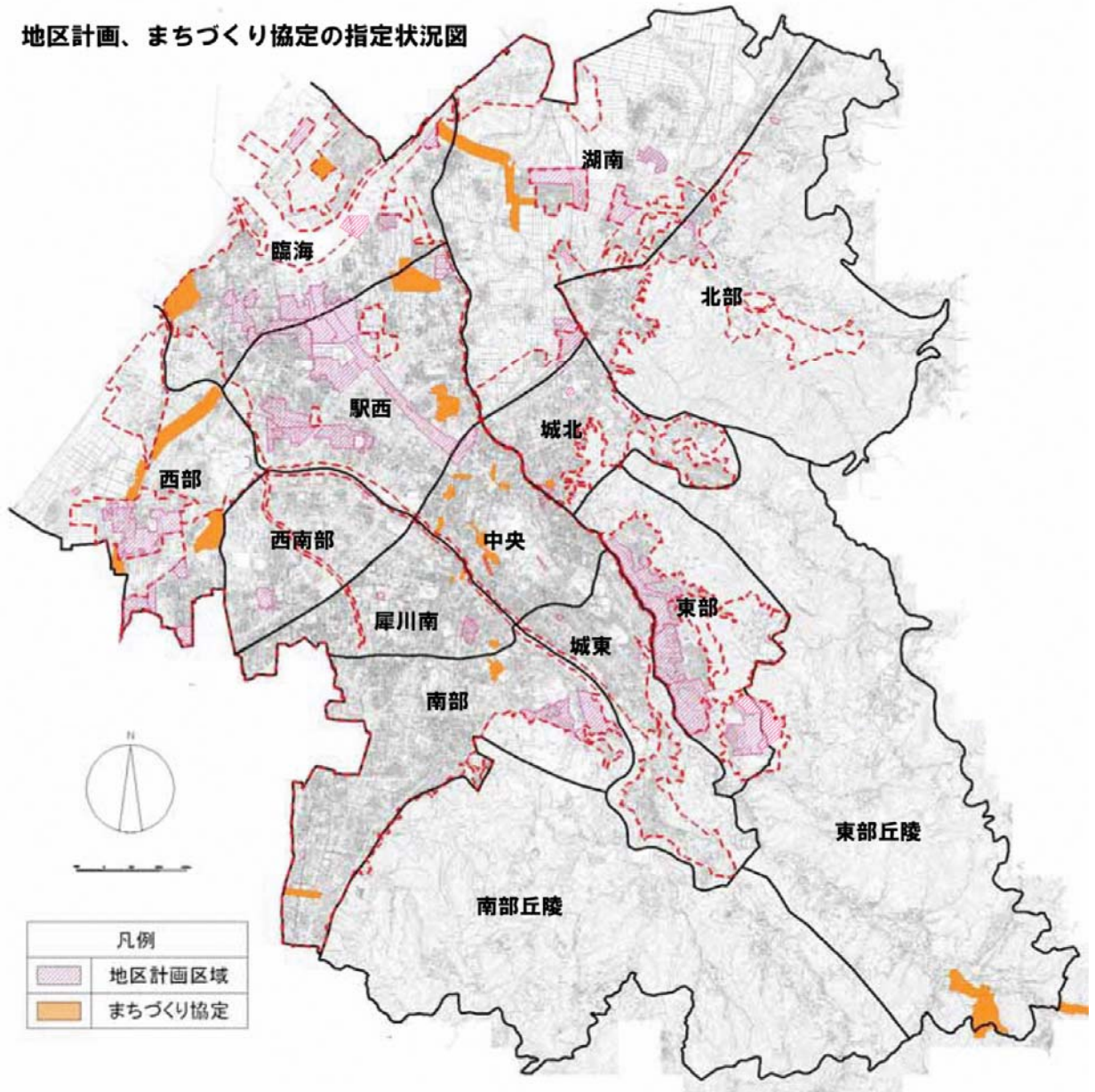


### (13) 地区計画・まちづくり協定の指定状況

地区計画区域は東部地区、駅西地区、西部地区に多く分布しています。

市内中心部では、対象範囲の狭いまちづくり協定が多く、北西部には比較的大規模な対象範囲をもつまちづくり協定が締結されています。

地区計画、まちづくり協定の指定状況図



出典：金沢市作成資料

地区計画地区の名称		区域面積	地区計画地区の名称		区域面積
1	東山1丁目地区	1.9ha	28	松村第二地区	27.6ha
2	金沢西部地区 金沢駅港線	15.6ha	29	大桑第三地区	30.2ha
3	泉野町3丁目地区	9.3ha	30	野田地区	28.7ha
4	金沢市若松・鈴見地区	64.5ha	31	サンシャイン金沢・安原地区	1.5ha
5	金沢駅西地区 金沢駅港線	39.7ha	32	花園八幡町地区	1.5ha
6	金沢西部西地区	34.8ha	33	三池高柳地区	14.3ha
7	直江地区	7.7ha	34	中屋地区	6.4ha
8	瑞樹団地地区	40.3ha	35	三口第二地区	10.2ha
9	金沢駅東地区	13.8ha	36	ウッドパーク玉鉾地区	1.3ha
10	上安原第一地区	5.8ha	37	アパールガーデン泉本町地区	1.2ha
11	上荒屋東部地区	9.2ha	38	いなほ工業団地地区	15ha
12	金沢西部東地区	2.2ha	39	木曳野地区	24.1ha
13	鞍月地区 金沢駅港線	27.8ha	40	戸板第二地区	49.4ha
14	鞍月東地区	23.4ha	41	笠舞2丁目地区	1.1ha
15	鞍月西地区	24.1ha	42	かたつ工業団地地区	6.5ha
16	太陽が丘西部地区	41.3ha	43	無量寺第二地区	19.0ha
17	石引4丁目地区	1.3ha	44	湖陽団地地区	12.9ha
18	安原中央地区	71.8ha	45	塚崎南地区	1.6ha
19	福久町東部地区	18.7ha	46	竪町商店街地区	2.2ha
20	南森本・塚崎地区(サンシャイン南森本)	3.3ha	47	東金沢イースト地区	3.2ha
21	橋場町地区	1.4ha	48	ウッドパーク小立野地区	1.1ha
22	田上第五地区	43.6ha	49	金沢市粟崎町4丁目地区	11.9ha
23	田上本町地区	54.0ha	50	サンシャイン鳴和地区	1.4ha
24	金沢西部第二地区	35.2ha	51	太陽が丘東部地区	22.8ha
25	八日市出町地区	10.7ha	52	金沢港東部工業用地地区	12.1ha
26	横川3丁目地区	0.4ha	53	サンシャイン千木地区	1.0ha
27	東金沢ゆいの里地区	7.5ha			

出典：金沢市作成資料

まちづくり協定地区の名称		区域面積	まちづくり協定地区の名称		区域面積
1	英町商店街地区	約1.1ha	13	香林坊地区	約3.9ha
2	にし茶屋街地区	約0.6ha	14	柿木畠地区	約3.9ha
3	金沢木工センター地区	約10.0ha	15	横安江町商店街地区	約1.9ha
4	元車・御影大橋地区	約2.7ha	16	岸川町弘小路地区(飛騨牧場跡)	約1.3ha
5	神野地区	約26.3ha	17	主計町地区	約0.6ha
6	四千万地区	約7.5ha	18	武蔵北国街道ふくろう通り地区	約1.6ha
7	せせらぎ通り地区	約1.6ha	19	竪町商店街地区	約2.2ha
8	泉野町1丁目泉工会地区	約2.2ha	20	芳齋地区	約2.3ha
9	北安江地区	約14.0ha	21	北安江下丁地区	約6.3ha
10	東山ひがし地区	約1.8ha	22	鞍月用水・大野庄用水界隈	約3.9ha
11	緑が丘地区	約6.4ha		合計	約132.1ha
12	問屋町地区	約30.0ha			

出典：金沢市作成資料

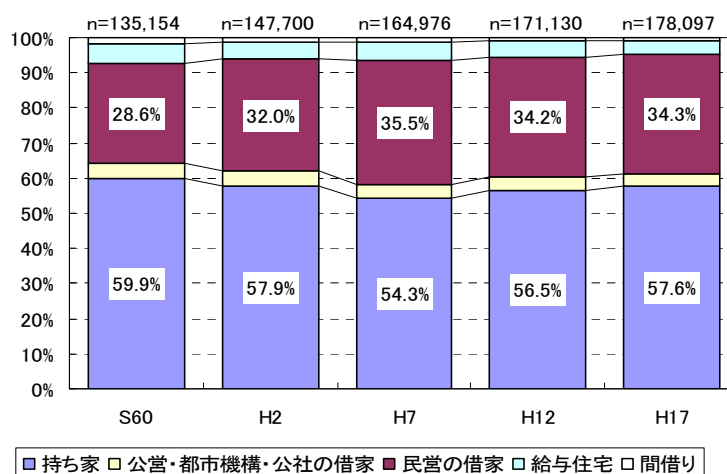
## 2. 金沢市の住宅事情

### (1) 住宅所有関係

#### ①住宅所有関係別世帯数

住宅に住む一般世帯数は、増加傾向が続いており、平成 17 年現在において 17.8 万世帯となっています。

平成 17 年現在の住宅所有関係別世帯数の構成比は、持ち家(57.6%)が最も多く、次いで民営借家(34.3%)となっています。

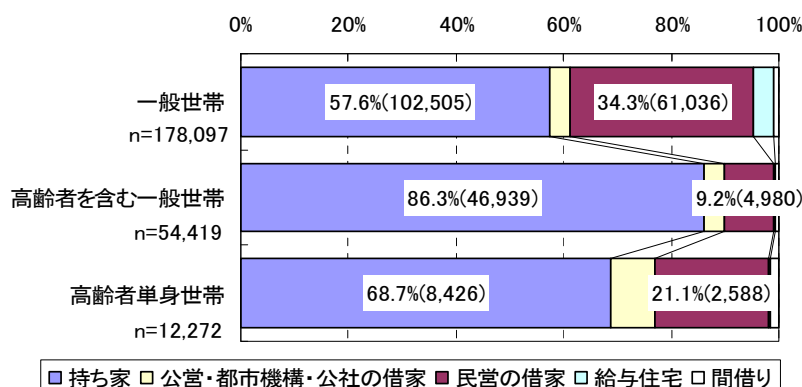


出典：国勢調査

#### ②高齢者を含む世帯の住宅所有関係

平成 17 年現在の高齢者を含む一般世帯（54,419 世帯）の住宅所有関係別世帯数の構成比は、持ち家(86.3%、46,939 世帯)が最も多く、次いで民営借家(9.2%、4,980 世帯)となっています。

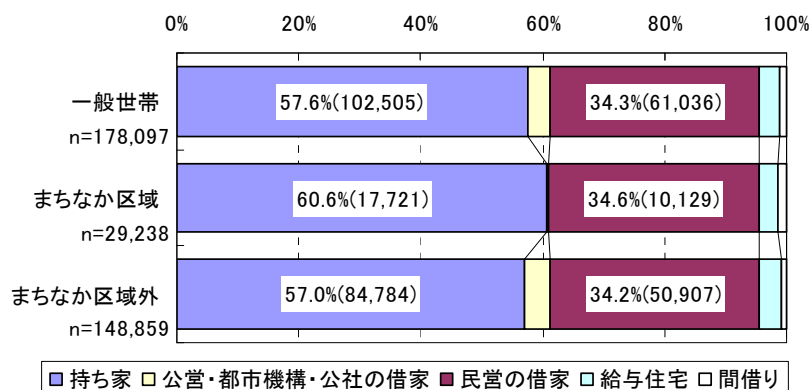
このうち、高齢者単身世帯(12,272 世帯)の住宅所有関係をみると、持ち家(68.7%、8,426 世帯)、民営借家(21.1%、2,588 世帯)の順となっており、民営借家の比率が高くなっています。



出典：国勢調査(H17)

### ③まちなか区域の住宅所有関係

平成 17 年現在のまちなか区域（29,238 世帯）における一般世帯の住宅所有関係別世帯数の構成比は、当該区域外よりも持ち家率(60.6%、17,721 世帯)が高くなっています。

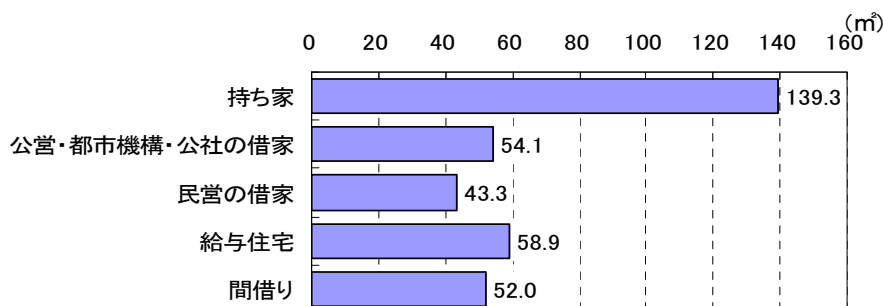


出典：国勢調査(H17)

## (2) 住宅の規模

### ①住宅所有関係別延べ床面積

平成 17 年現在における住宅所有関係別延べ床面積は、持ち家が 139.3 m<sup>2</sup>(42.1 坪)、民間借家が 43.3 m<sup>2</sup>(13.1 坪)となっています。

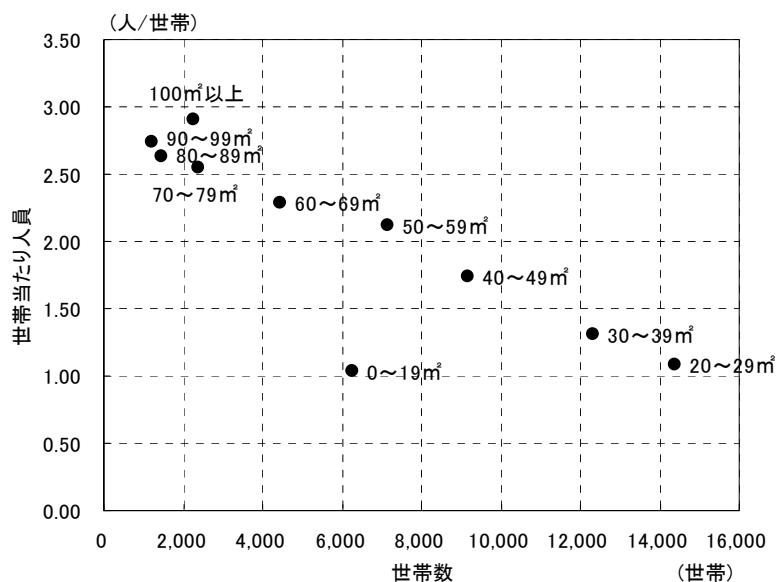


出典：国勢調査(H17)

## ② 民間借家の延べ床面積

平成 17 年現在における述べ床面積別民間借家入居世帯数をみると、20-29 m<sup>2</sup> (14,398 世帯) が最も多く、40 m<sup>2</sup>未満が 32,957 世帯と全体の 54.0% を占めています。

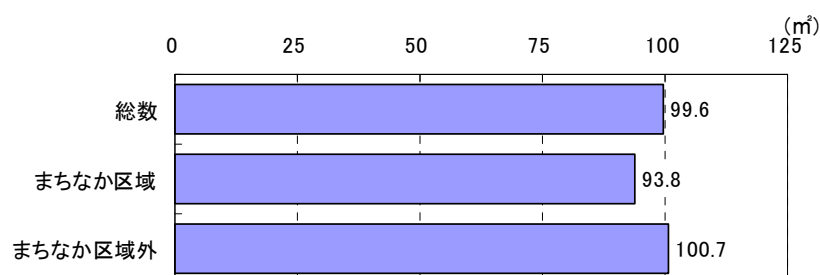
40 m<sup>2</sup>未満の世帯当たり人員は 1.04 ~ 1.31 人/世帯となっており、民間借家の約半数が主として単身者向けに供給されていると考えられます。



出典：国勢調査(H17)

## ③ まちなか区域の世帯当たり延べ床面積

平成 17 年現在のまちなか区域における世帯当たり延べ床面積(93.8 m<sup>2</sup>=28.4 坪)は、当該区域外(100.7 m<sup>2</sup>=30.5 坪)よりも若干小さくなっています。



出典：国勢調査(H17)

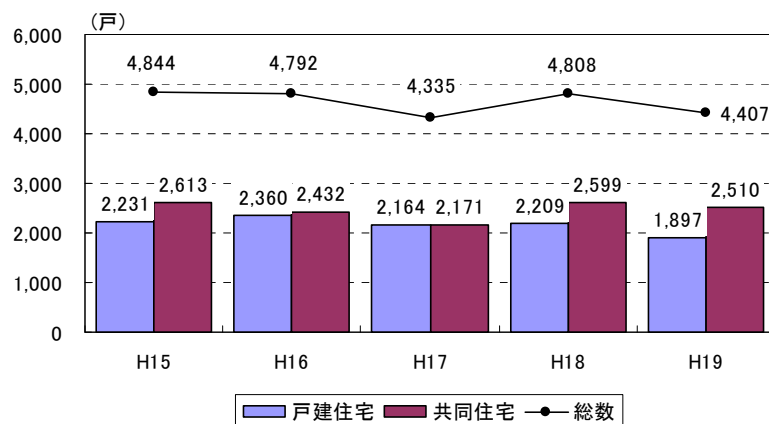
### (3) 新規住宅着工戸数

#### ① 新規住宅着工戸数(全市)

平成 19 年度の新規住宅着工戸数は 4,407 戸となっており、内訳をみると共同住宅(2,510 戸)が過半数(57.0%)を占めています。

過去 5 年間の実績をみると、着工戸数全体では、4000 戸台で推移しており、常に戸建住宅よりも共同住宅の方が多い状態が続いています。

平成 19 年度における戸建住宅の新規着工住宅戸数対前年度比増減率は 14.1% となっています。

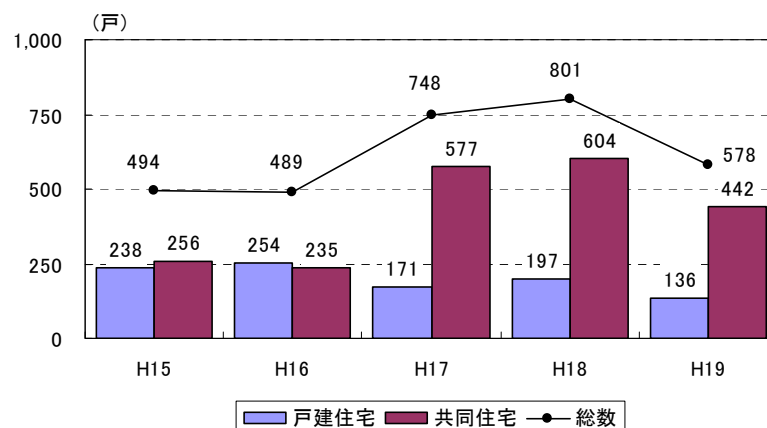


出典：金沢市資料

#### ② まちなか区域の新規住宅着工戸数

平成 19 年度の新規住宅着工戸数は 578 戸となっており、内訳をみると共同住宅(442 戸)が大半(76.5%)を占めています。

着工戸数は、平成 18 年度をピークに減少しており、平成 19 年度における対前年度比増減率は総数 27.8%、戸建住宅 31.0%、共同住宅 26.8%となっています。



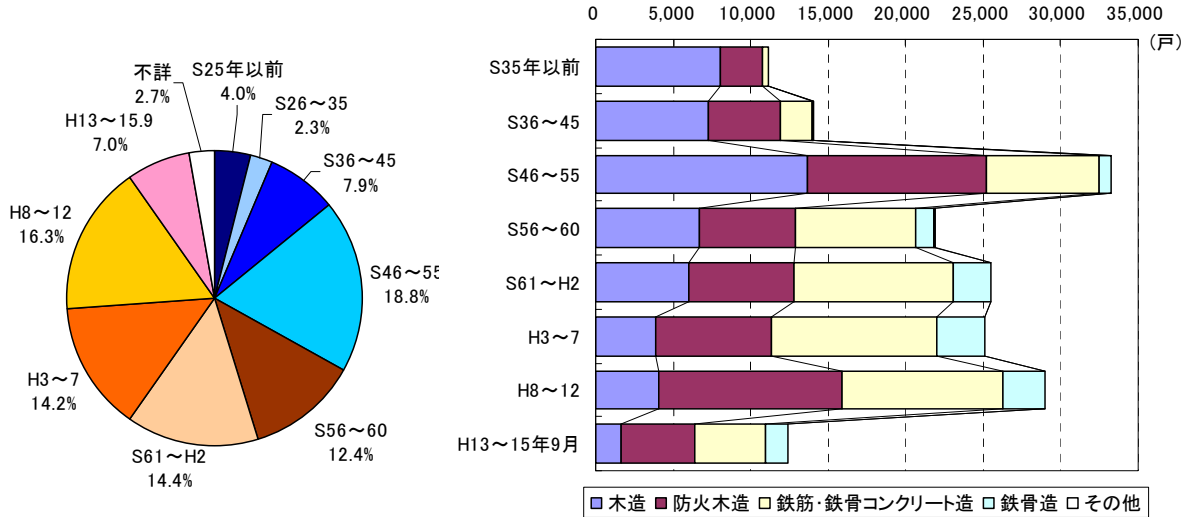
出典：金沢市資料



## (4) 住宅の建築時期

### ① 建築時期別住宅戸数

平成 15 年現在の建築時期別住宅戸数をみると、昭和 46-55 年(18.8%)が最も多く、昭和 55 年以前に建築された住宅が全体(177,180 戸)の 33.0%(58,490 戸)を占めています。



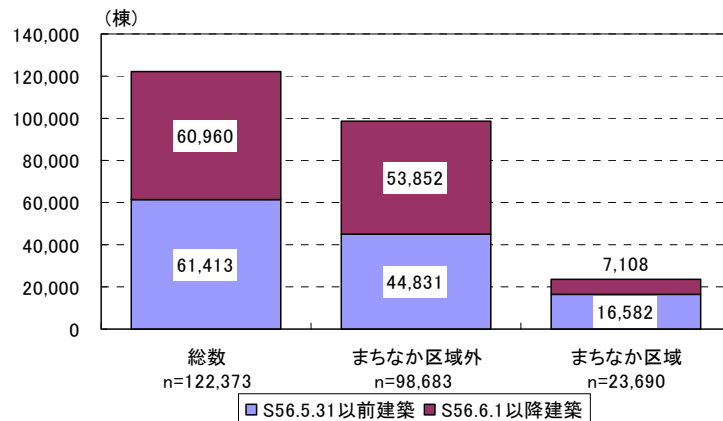
出典：住宅・土地統計調査(H15)、金澤町家継承・利用活性化基本計画

### ② 新耐震基準以前に建築された住宅戸数

平成 19 年 1 月現在、住宅は 122,373 棟あり、新耐震基準以前に建築された住宅は全体の 50.2%(61,413 棟)を占めています。

まちなか区域には、23,690 棟の住宅があり、新耐震基準以前に建築された住宅は全体の 70.0%(16,582 棟)を占めています。

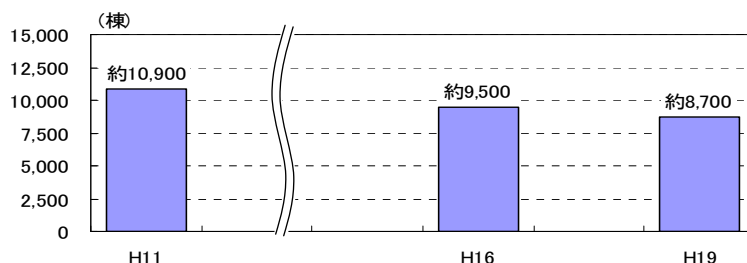
なお、金沢市耐震改修促進計画によると、耐震性が確保されている住宅は、まちなか区域 40.4%、当該区域外 61.3%となっています。



出典：金沢市耐震改修促進計画

### ③まちなか区域における歴史的建築物の状況

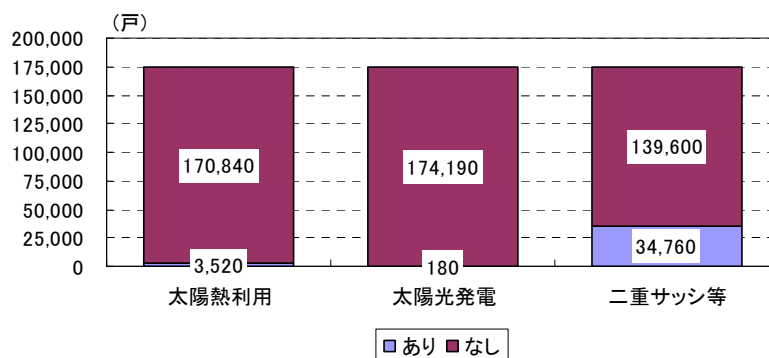
まちなか区域における歴史的建築物は、平成 11 年には約 10,900 棟でしたが、平成 16 年には約 9,500 棟、さらに平成 19 年には約 8,700 棟まで減少し、年間約 270 棟以上が消失（固定資産税台帳による）しています。



出典：金澤町家継承・利用活性化基本計画

### (5) 省エネルギー設備等の導入状況

平成 15 年現在の省エネルギー設備等の導入状況をみると、太陽熱を利用した温水機器等が 3,520 戸(2.0%)、太陽光を利用した発電機器が 180 戸(0.1%)、二重サッシ・複層ガラス窓が 34,760 戸(19.6%)となっています。



出典：住宅・土地統計調査(H15)

## (6) 市営住宅の状況

### ①市営住宅の現況

平成 20 年 7 月現在、市内には市営住宅 16 団地(167 棟 3,457 戸)および特定公共賃貸住宅として芳斉町住宅(1 棟 9 戸)が供給されています。

額新町をはじめとする大規模団地(150 戸以上)では、既に耐用年限の 1/2 を超過(建替時期を迎えた住宅)したものや、計画期間中に建替時期を迎えるものがみられます。

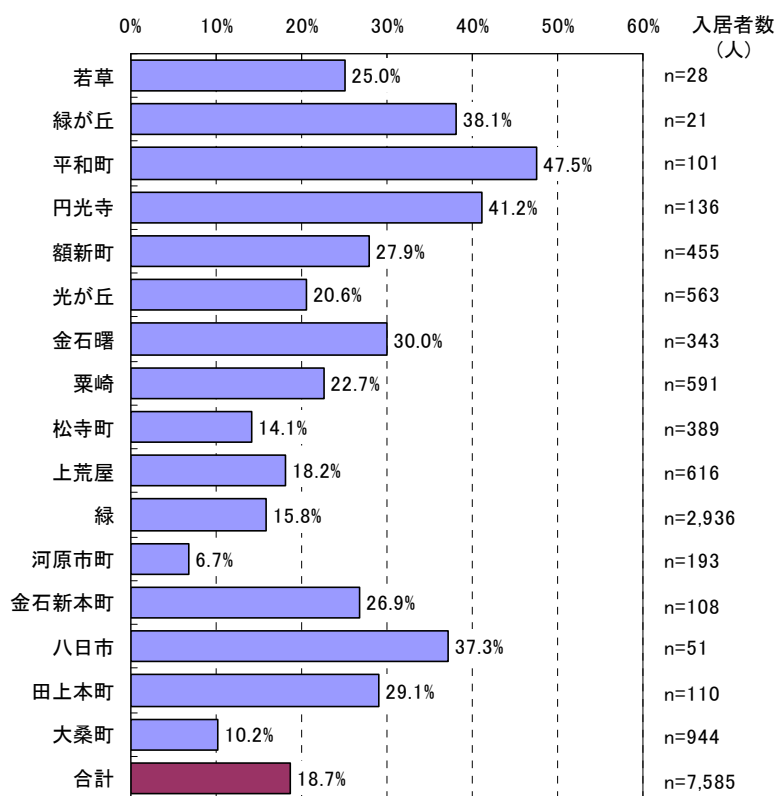
		棟数	戸数	構造	建設竣工年度	改善竣工年度	耐用年限	経過年数	住戸専用面積	タイプ
1	若草	1	16	中耐	1995 ~ 1995	-	70	13	61.6 ~ 66.1	2DK、3K
2	平和町	1	19	中耐	2002 ~ 2002	-	70	6	65.6 ~ 77.0	2DK、3DK
	平和町(改)	1	50	中耐	1971 ~ 1971	1999 ~ 1999	70	37	45.4	2DK
3	円光寺	6	78	中耐	1986 ~ 1993	-	70	15 ~ 22	54.4 ~ 76.5	2DK、3DK
4	額新町	14	250	中耐	1964 ~ 2000	1983 ~ 1987	70	8 ~ 44	41.1 ~ 73.5	1LK、2K、2DK、3DK、3LDK、5DK
5	光が丘	17	263	中耐	1966 ~ 1994	1982 ~ 1991	70	14 ~ 42	34.2 ~ 74.7	2K、2DK、3DK、3LDK、5DK
6	金石曙	10	180	中耐	1990 ~ 1997	-	70	11 ~ 18	47.0 ~ 74.2	2DK、3DK
7	粟崎町	12	270	中耐	1996 ~ 2003	-	70	5 ~ 12	53.8 ~ 76.1	2DK、2LDK、3DK
8	松寺町	7	162	中耐	1995 ~ 2001	-	70	7 ~ 13	49.2 ~ 74.8	2DK、3DK
9	上荒屋	16	258	中耐	1983 ~ 1989	-	70	19 ~ 25	46.0 ~ 76.5	2DK、3K、3DK
10	緑	4	12	簡二	1970 ~ 1972	1988 ~ 1990	45	36 ~ 38	81.3	4DK
		35	798	中耐	1970 ~ 1994	1986 ~ 1998	70	14 ~ 38	40.1 ~ 80.0	2DK、3K、3DK、5DK
		4	532	高耐	1976 ~ 1978	1999 ~ 2003	70	28 ~ 32	34.5 ~ 52.0	2DK、2LDK、3DK
11	河原市町	4	64	中耐	1982 ~ 1990	-	70	18 ~ 26	69.4 ~ 71.1	3DK
12	金石新本町	3	50	中耐	1988 ~ 1988	-	70	20	51.7 ~ 79.7	2DK、3DK
13	八日市	1	32	中耐	2002 ~ 2002	-	70	6	54.3 ~ 64.4	2DK、2LDK、3DK
14	大桑町	29	351	中耐	1978 ~ 1980	-	70	28 ~ 30	54.3 ~ 82.9	2LDK、3DK
15	緑が丘	1	12	中耐	2004 ~ 2004	-	70	4	58.0 ~ 71.9	2DK、3DK
16	田上本町	1	60	中耐	2005 ~ 2007	-	70	1 ~ 3	43.0 ~ 77.3	1LDK、2DK、2LDK、3DK、4DK
	計	167	3,457							

出典：金沢市資料(経過年数は、建設竣工年度から 2008 年度まで)

## ②市営住宅入居者の高齢化率

平成 20 年 7 月現在、市営住宅の入居者数は 7,585 人となっており、老年人口比率は 18.7%となっています。

住宅別には高齢化率をみると、平和町(47.5%)が最も高く、次いで円光寺(41.2%)、緑が丘(38.1%)となっています。



出典：金沢市資料

## (7) その他公的借家の状況

平成 20 年 8 月現在、市内には県営住宅 25 団地(3,191 戸)、石川県住宅供給公社  
賃貸住宅 4 団地(120 戸)および U R 賃貸住宅 2 団地(196 戸)が供給されています。

			構造	建設竣工年度	戸数	タイプ
県営住宅	1	泉野	耐火	H15	15	1LDK, 2LDK
	2	平和町	耐火	S32 ~ H16	777	1LDK ~ 4LDK
	3	円光寺町	耐火	S58・59	82	2DK, 3DK, 2LDK
	4	鳴和	耐火	S39 ~ H11	102	1LDK ~ 3LDK
	5	若草	耐火	S63	22	2K ~ 3DK
	6	額	耐火	S39 ~ H1	169	2K ~ 5DK
	7	光ヶ丘	耐火	S42 ~ H7	165	1DK ~ 3LDK
	8	額新保	耐火	S49 ~ H3	90	2K ~ 4DK
	9	三十苺	耐火	S48	114	3K
	10	三十苺南	耐火	S50	132	3DK
	11	大桑	耐火	H14 ~ 17	222	1DK ~ 3LDK
	12	法島	耐火	H12	12	2DK ~ 3DK
	13	諸江	耐火	S55・56	121	2DK ~ 3DK
	14	額浦野森	耐火	S55	64	3DK
	15	新神田	耐火	S56	139	2DK ~ 3DK
	16	古府	耐火	S57	60	2DK, 3DK
	17	末	耐火	S57	87	3DK
	18	寺中	耐火	S58 ~ H2	124	2DK ~ 3DK
	19	米泉	耐火	S59	88	2DK ~ 4DK
	20	泉本町	耐火	S59・H17	121	1LDK ~ 3LDK
	21	金石	耐火	S59	27	2DK, 3DK
	22	矢木	耐火	S61	84	2DK ~ 4DK
	23	畝田	耐火	S62 ~ H2	162	2DK ~ 3LDK
	24	けやき	耐火	H8 ~ 11	100	2LDK, 3LDK
県営改良住宅	25	平和町	耐火	S43 ~ 45	112	2K
小計					3,191	
石川県住宅供給 公社賃貸住宅	1	石住 2	耐火	S46	30	3LDK
	2	石住 3		S47	30	
	3	石住 4	耐火	S48	30	3LDK
	4	石住 5		S48	30	
小計					120	
U R 賃貸住宅 (旧公団住宅)	1	ライブ 1 かなざわ	耐火	S61	96	1LDK, 2DK, 3DK, 3LDK
	2	新神田団地	耐火	S52	100	3DK
小計					196	
合計					3,507	







### 3. 市民意向の把握

#### (1) 市民意向調査(アンケート調査)の目的と概要

##### ①目的

住宅・住生活に関わる各種施策を講じる際の基礎資料とするため、居留意向や居住環境の現状評価等を把握することを目的として、本市に在住する方を対象としてアンケート調査を行いました。

##### ②調査の概要

調査期間：平成 21 年 1 月 30 日(金)～平成 21 年 2 月 6 日(金)

調査対象：18 歳以上の市民 2,200 人      まちなか区域 1,100 人、まちなか区域以外 1,100 人

抽出方法：無作為抽出

調査方法：郵送による配布回収

##### ③配布・回収結果

	合計	まちなか区域	まちなか区域 以外	無回答
配布	2,200	1,100	1,100	-
回収	933	471	452	10
回収率	42.4%	42.8%	41.1%	-

## (2) 調査結果の概要

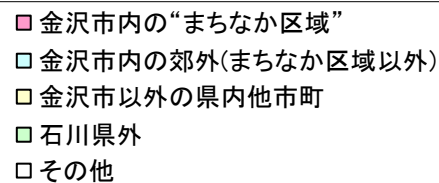
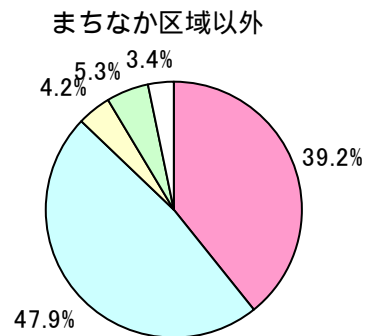
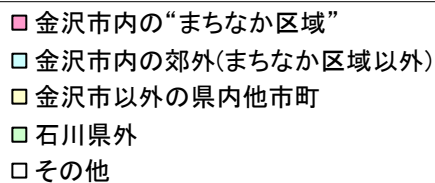
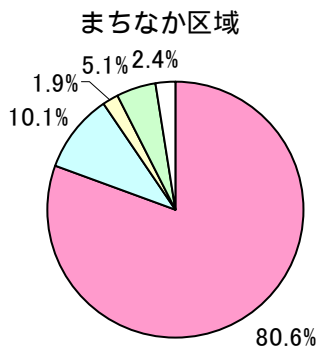
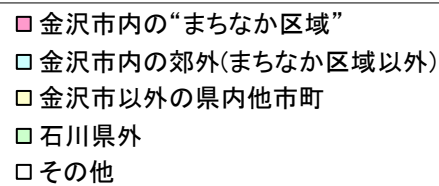
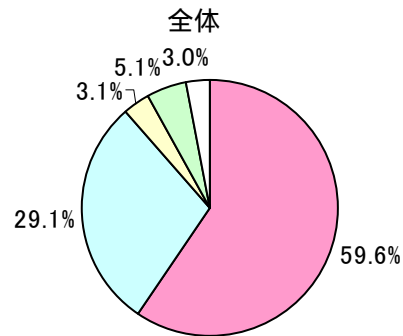
### ①あなたが、転居・転出ををするとした場合、どこで生活したいと思いますか。

【単一回答】

全体では、「まちなか区域」(59.6%)、「まちなか区域以外」(29.1%)、「石川県外」(5.1%)の順となっています。

“まちなか区域”では、「まちなか区域」が80.6%と大半を占めています。

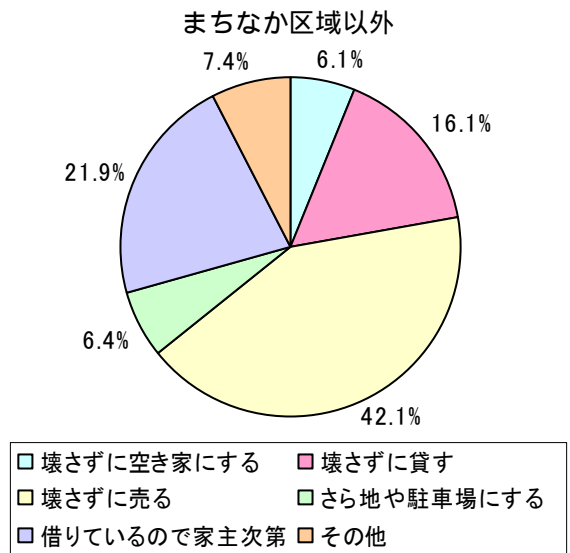
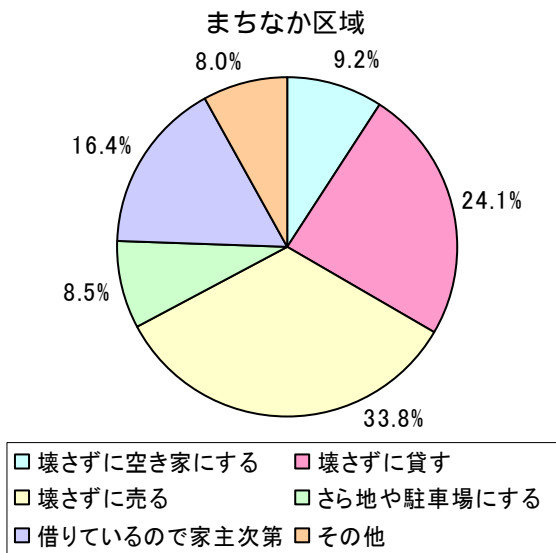
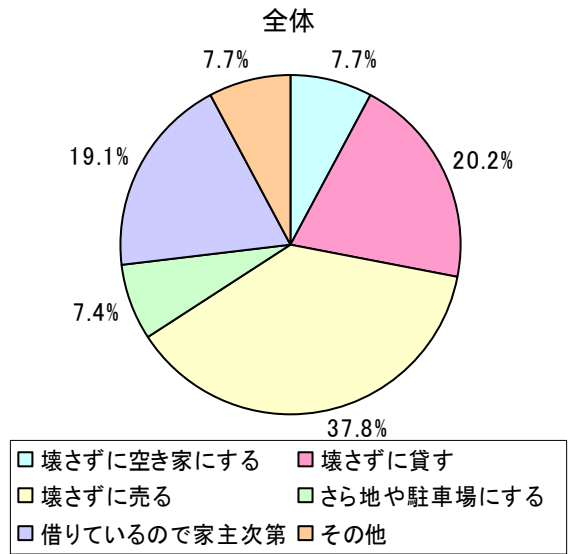
一方、“まちなか区域以外”では1位と2位が逆転して、「まちなか区域以外」が最も多く47.9%と約半数を占めています。



**②あなたが、転居・転出などにより、現在の住宅を引き払うとした場合、現在の住宅をどのように扱いたいと思いますか。【単一回答】**

全体では、「壊さずに売る」(37.8%)、「壊さずに貸す」(20.2%)、「借りているので家主次第」(19.1%)となっています。

“まちなか区域”および“まちなか区域以外”も全体とほぼ同様の結果となっていますが、“まちなか区域”では「壊さずに貸す」(24.1%)が比較的多くなっています。

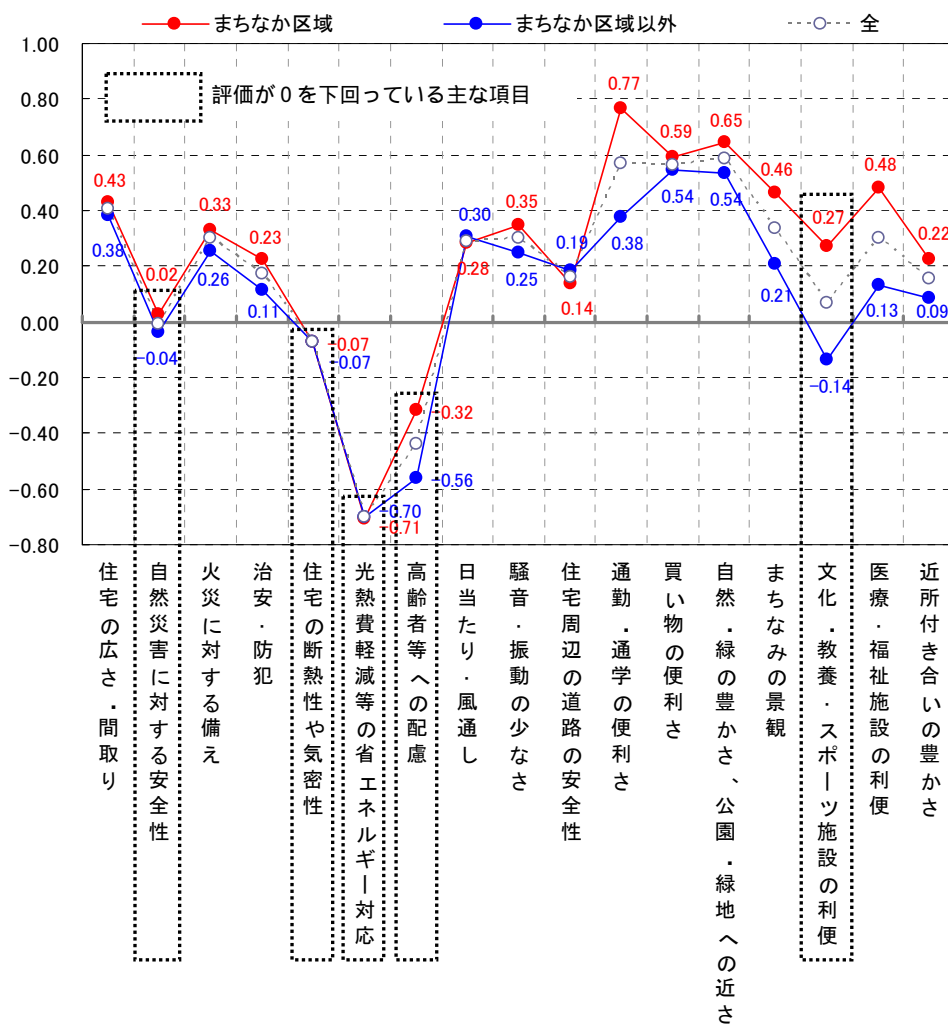


### ③現在のお住まいや周辺的环境について、どのように思っていますか。

“まちなか区域”では、「通勤・通学の便利さ」(0.77)、「自然・緑の豊かさ、公園・緑地への近さ」(0.65)、「買い物の便利さ」(0.59)に対する評価が高く、一方「光熱費軽減等の省エネルギー対応」(-0.71)、「高齢者等への配慮」(-0.32)に対する評価が低くなっています。

“まちなか区域以外”では、「買い物の便利さ」(0.77)、「自然・緑の豊かさ、公園・緑地への近さ」(0.65)、「住宅の広さ・間取り」(0.59)に対する評価が高く、一方「光熱費軽減等の省エネルギー対応」(-0.71)、「高齢者等への配慮」(-0.32)に対する評価が低くなっています。

“まちなか区域”と“まちなか区域以外”の項目毎のポイント差をみると、「文化・教養・スポーツ施設の利便」(0.41)、「通勤・通学の便利さ」(0.39)、「医療・福祉施設の利便」(0.35)において比較的差が生じており、いずれも“まちなか区域”の評価が高くなっています。



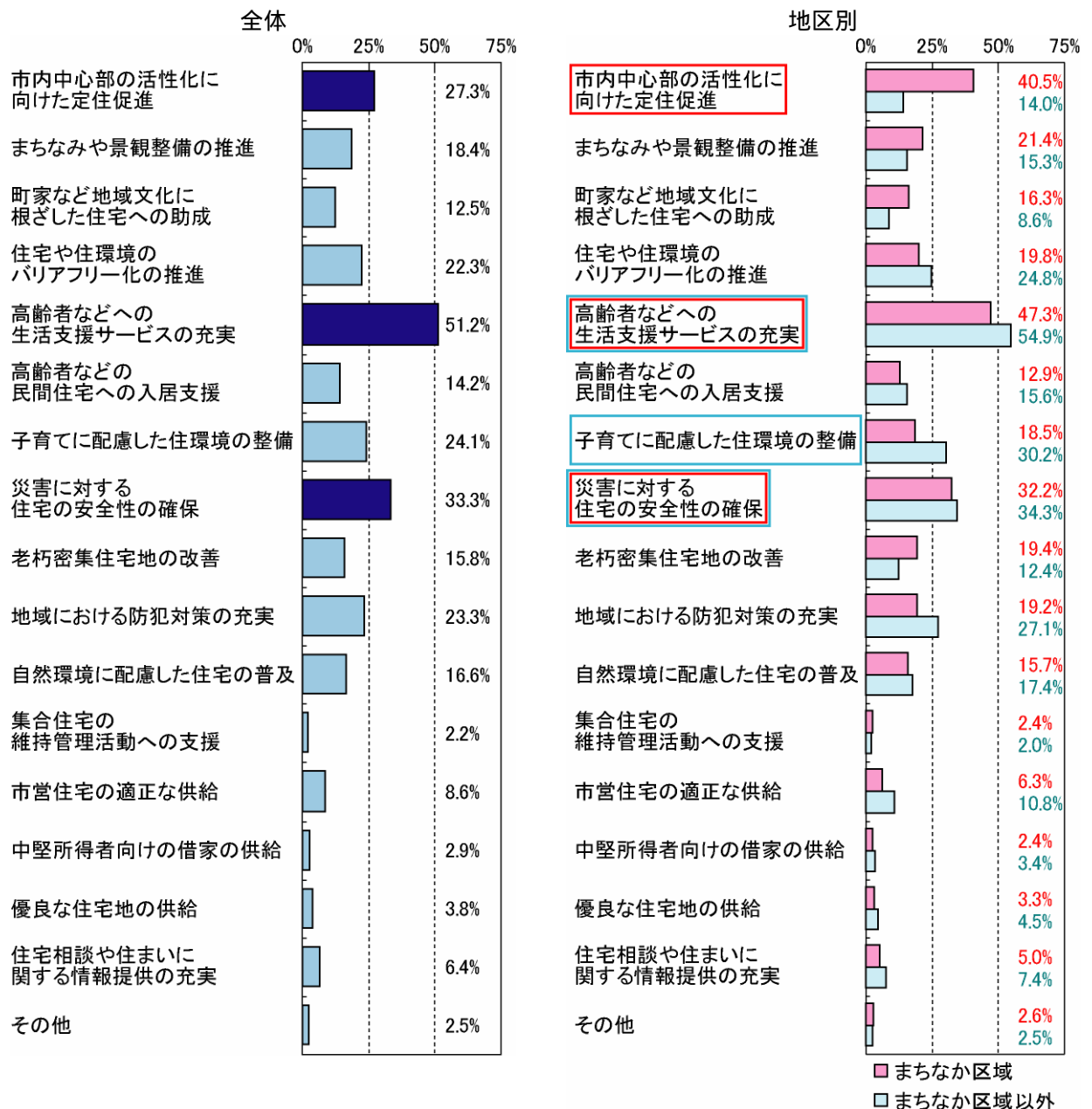
満足：+2点、ほぼ満足：+1点、わからない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とした加重平均値を用いて評価を計測している(0を上回ると概ね満足、0を下回ると不満の声が多いものと判断できます)。

**④今後、金沢市はどのような住宅政策に特に力を入れるべきだと良いと思いますか。【複数回答可】**

全体では、「高齢者などへの生活支援サービスの充実」(51.2%)、「災害に対する住宅の安全性の確保」(33.3%)、「市内中心部の活性化に向けた定住促進」(27.3%)の順となっています。

“まちなか区域”では2位と3位が逆転して、「市内中心部の活性化」(40.5%)があがっています。

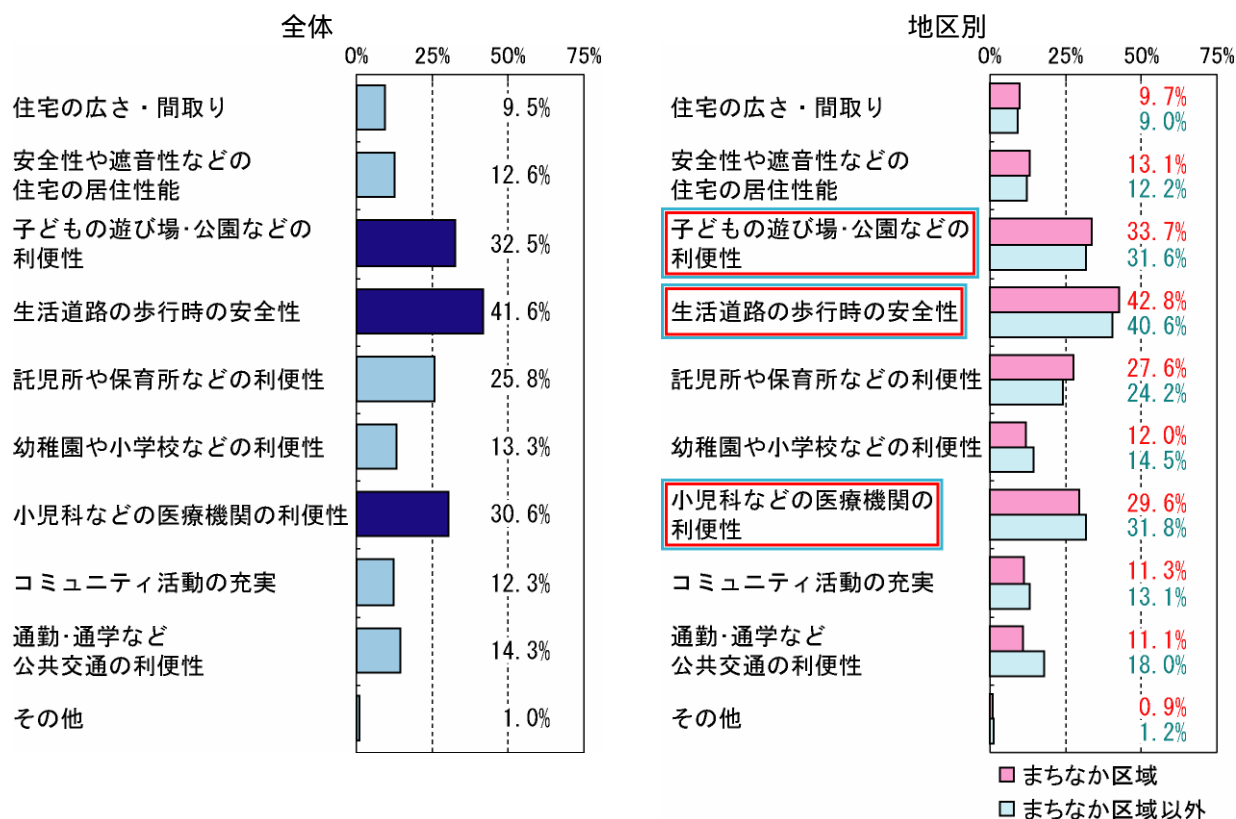
また、“まちなか区域以外”では、3位に「子育てに配慮した住環境の整備」(30.2%)があがっています。



⑤あなたは、子育て中の世帯にとって、住宅や住環境のどのようなことが最も重要だと思いますか。【複数回答可】

全体では、「生活道路の歩行時の安全性」(41.6%)、「子どもの遊び場・公園などの利便性」(32.5%)、「小児科などの医療機関の利便性」(30.6%)となっています。

“まちなか区域”および“まちなか区域以外”も全体とほぼ同様の結果となっています。



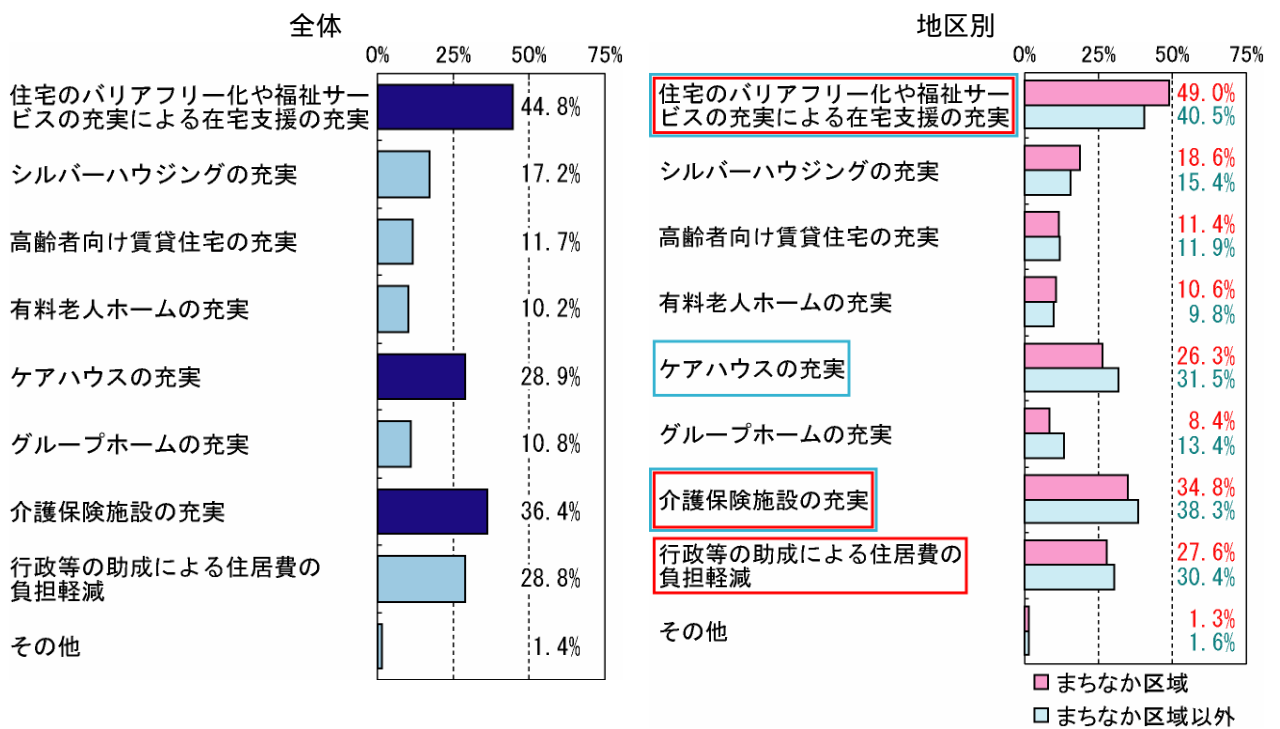


⑥あなたは、高齢化が進む社会において、“住まい”に対する支援などとしてどのようなことが最も重要だと思いますか。【複数回答可】

全体では、「住宅のバリアフリー化や福祉サービスの充実による在宅支援の充実」(44.8%)、「介護保険施設<sup>1</sup>の充実」(36.4%)、「ケアハウス<sup>2</sup>の充実」(28.9%)となっています。

“まちなか区域”では3位に「行政の助成による住居費(改修費や家賃)の負担軽減」(27.6%)があがっています。

1. 特別養護老人ホームや老人保健施設等。
2. 身体機能の低下等で独り暮らしが不安な高齢者向け住宅。



⑦あなたは、高齢化が進む社会において、“住環境”の整備などとしてどのようなことが最も重要だと思いますか。【複数回答可】

全体では、「日常の買い物や通院などの利便性」(58.2%)、「火災・地震・水害などに対する安全性」(48.6%)、「地域ぐるみでのコミュニティ活動の充実・支援」(31.7%)の順となっています。

“まちなか区域”および“まちなか区域以外”も全体とほぼ同様の結果となっています。

